

「れんけいレポート」

～地域連携室報告～

発行：河内長野市医師会地域連携室

平成 29 (2017) 年 8 月・第 22 号

■<案内> **在宅サロン：9月2日(土)午後2時30分～4時予定(於・河内長野市医師会館)。**

今回は高齢者の栄養(口から食べるプロジェクト)にスポットをあて、講師は近畿大学医学部の大洞佳代子先生(リハビリテーション科専門医)。出席希望の場合は地域連携室迄ご連絡を！

☆河内長野市ブルーカードシステム(休日夜間病状急変時対応システム)が稼働中。**かかりつけの患者さんに、「ブルーカード」を発行するには、「登録医」(登録医療機関)の申込みが必要。随時「登録医」の登録申込みを受付中。詳細は地域連携室迄ご連絡を！**

<ブルーカードシステムの運用状況> 7月31日現在

※登録医：35名(登録医療機関：29機関)、「ブルーカード」発行：44件、「ブルーカード」不受理：2件、「ブルーカード」発動：3件、「ブルーカード」未発動入院：2件

<ブルーカードシステムにおける登録医への聞き取り調査> 4月12日～7月25日(実施期間)

☆システム運用に際しての意見聴取のため、在宅医療推進コーディネータ事業の一環として実施。運用内容の確認、連携病院への期待の他、救急医療に対する意見等が寄せられた。

☆**地域における“顔の見える”専門職の多職種連携の推進を！！**

(1)「れんけいカフェ」は、現在偶数月の第4水曜日の定期開催となっており、次回は8月23日(水)、次々回は10月25日(水)の予定(開所は午後1時30分～、会議は午後2時～)。前回は、医師、看護師はじめ35名の参加があった。参加自由・予約不要。

(2)「多職種連携マガジン」は、河内長野市地域ケア会議の広報紙として、第3号を発行中。認知症の高齢運転者対策の推進や在宅歯科ケアステーションの案内等についての記事を掲載。

(3)多職種連携推進のための「河内長野市れんけいエチケット集」を発行中。なお、医師会ホームページ(地域連携室⇒エチケット集)から、PDF版のダウンロードも可能となっている。

□**よみうりいきいき終活フェスタ講演会「エンディングノートを使って家族に伝える終活」**：7月17日(月・祝)開催(於・大阪富国生命ビル・大阪市北区小松原町2-4)

武藤頼胡(むとうよりこ)氏(終活カウンセラー協会代表理事)から、終活の定義、社会的背景、終末期医療、葬儀と墓、相続、エンディングノート等について講演。特に、かかりつけ医を持つことの必要性が強調され、終活については「今後をよりよく生きるための活動である。余命宣告をされた時には出来ない。元気だからできること」との発言があり、その有用性が示された。

◇**南花台創生事業総合研究会**：5月25日・6月22日・7月27日(木)開催(於・河内長野市役所)

いずれもコノミヤテラス(南花台)でのイベント開催、買物応援プロジェクトはじめ各種事業内容についての進捗報告とグループ討議が行われた。本事業は平成27年度からの5年事業で、今年度から3年間は、地方創生推進交付金(国庫)により運営されることになっている。なお、7月4日(火)には、市役所担当者と「まちの保健室」について意見交換を行った。次回は8月24日(木)の予定。

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL: 54-1700 FAX: 54-1567>

<メールアドレス: chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>